

<農業×アート 互いの課題を相互に解決する「半農半アート」複合経営プロジェクト>



**UNMANNED**

無人駅の芸術祭 / 大井川

Unmanned Station Art Festival, OIGAWA

半農半アート・レジデンスプログラム

募集概要

応募締切 2024年7月15日(月祝) 17:00 必着

<ぬくりアート創造人材研究会>

事務局：抜里エコポリス

応募先：NPO 法人クロスメディアしまだ

支援：静岡県 農地局 農地保全課

曾つてわれらの師父たちは乏しいながら可成楽しく生きてゐた  
そこには芸術も宗教もあった

・・・

ここにはわれら不断の潔く楽しい創造がある  
都人よ 来てつてわれらに交れ 世界よ 他意なきわれらを容れよ

『農民芸術概論綱要』 宮沢賢治

農業と芸術。2つの創造行為を追求する新しいAIRをはじめます。

半農半アートレジデンスプログラムは、UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川を主催するNPO 法人クロスメディアしまだが行うアーティスト・イン・レジデンスプログラムです。静岡県中部に位置する島田市・川根本町を流れる大井川流域に滞在し、地域の農業に触れながら、人々と交流することで、多様なインスピレーションを受けながら創作活動を行います。

我々が本事業で最も重視するのは「関係」です。人間同士の関係にとどまらず、自然、環境など、多様なものとの関係が生まれていくこと、そしてそれが作品制作やインスピレーションに反映されていくことを期待します。

今回、「関係」をより深く紡いでいくきっかけとして、地域の「農」に関わることを最重要とします。当エリアの主幹産業は茶業。古くから山々を開墾し、茶の木を植え、良質な緑茶の生産を行ってきました。

効率化とスピード化、都市部への人口流出の進む地方では農業人口が減少し、耕作放棄地が増加しています。大地に根ざした創造行為である、茶業をはじめとした地域の農に関わりながら、自身の創作活動を同時に行う本事業にぜひ挑戦してください。アーティストによる地域に対する発見と表現活動を通じた地域課題へのアプローチが、地域農業の新しい姿の第一歩になると考えます。

皆さまの新たな挑戦をお待ちしております。

UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川  
総合ディレクター  
大石歩真・兒玉絵美

## 大井川流域及び抜里地域の概況

静岡県中部に位置する島田市・川根本町を流れる大井川に沿って走る大井川鉄道は20駅中16駅が無人駅であり、その無人と呼ばれる駅から広がる各地域（集落）は、上流から下流への変化する四季折々の里山景観とともに、茶畑とともに豊かに暮らす人々の営みや手つかずの美しい風景が残っています。また地域一体で「川根茶ブランド」の銘柄産地を支えるとともに、大井川鉄道の線路沿いの植栽活動やホテルの保全など、様々な地域活動が主体的に実施されています。

一方で、SL号や機関車トーマス号が停車しない抜里地区をはじめとする無人駅集落は、主な観光施策を有さず、集落の多くが少子高齢化とともに、地域保全・地域コミュニティの維持に向けた課題を有し、未来に向けた地域の担い手不足に直面しています。抜里地区では、平成24年（2012年）は、217世帯758人であった人口戸数は、令和4年（2022年）時点で214世帯601人となっており、人口減少や高齢化が進んでいる。年代別で見ると特に若年層の流出が顕著であり、地域の主産業である茶業をはじめとした農業に関わる人材や、地域活動を支える担い手の確保が課題となっています。

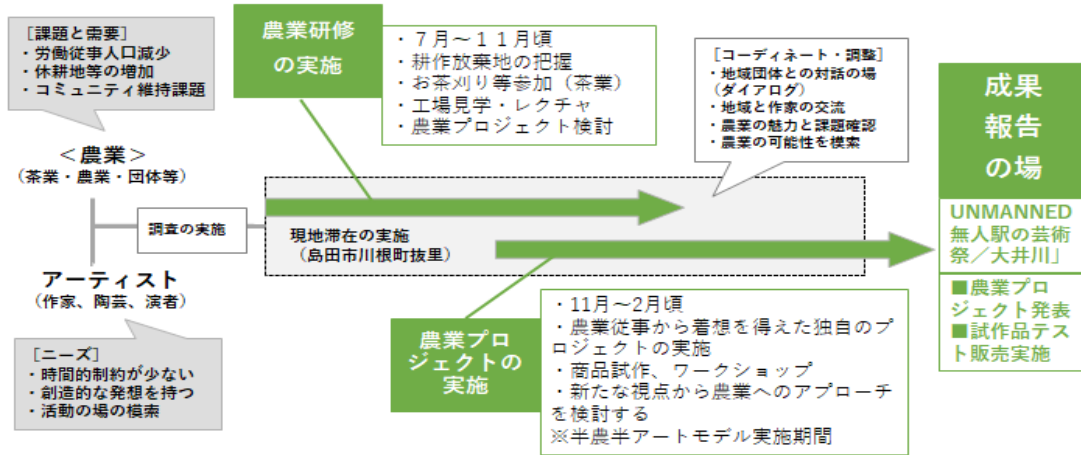
そんな中、2018年よりスタートした「UNMANNED（アンマンド）無人駅の芸術祭／大井川」は、無人駅地域を舞台に現代アートを通じて地域の魅力や課題を可視化するとともに、地域住民と参加作家、サポーター、来訪者などの交流の場として2023年3月まで6回の開催を重ねてきました。2021年には「日本ふるさとイベント大賞／ふるさとキラリ賞」を受賞するとともに、2022年・2023年には「美術手帖 今年注目の芸術祭」選出され、文化芸術分野に加え地域づくりの観点からも全国的な評価を受けています。

無人と呼ばれるエリアにおいてアーティストとアート作品がもたらした様々な化学反応は、地域の日常に降り積もり、会期を超え新しい地域の姿を浮かび上がらせています。





## 事業概要（参照：令和5年度の実績）



※令和6年度は芸術祭等での成果報告は予定しておりません

### [農業研修の実施フェーズ]



### [地域農業×表現プロジェクト実施フェーズ]



## 受入団体：抜里エコポリスとは

大井川中流域に位置し、山林に囲まれた茶園の中に抜里集落があります。基盤整備を契機に、茶農家の規模拡大と老朽化していた荒茶工場の再編が図られ、これにより農地や農業用施設の維持管理を担う「抜里エコポリス」が発足しました。今では農業者だけでなく地域住民全体を巻き込んだ活動として展開され、地域一体で「川根茶ブランド」の銘柄産地を支えています。また、S Lの線路沿いの植栽活動やホタルの保全にも取り組んでおり、地域内外との交流に貢献しています。令和3年度には、地域内での環境保全活動やホタル誘致に加え、UNMANNED 無人駅の芸術祭における協働の取組が評価され抜里集落が「ふじのくに美しく品格ある邑」知事顕彰を受賞した際の中心団体です。UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川を主催するNPO 法人クロスメディアしまだの協働パートナーとして、「ぬくりアート創造人材研究会」を立ち上げ、アートによる地域づくりを進めています。

## 受入団体：NPO 法人クロスメディアしまだとは

NPO 法人クロスメディアしまだは、静岡県島田市を活動拠点とするNPO 法人です。2012年に発足以来、「スキだらけのまちづくり」をキーコンセプトに地域づくり事業に取り組んでいます。主な事業領域には、「情報発信事業」「子どもの社会教育事業」「市民活動等の中間支援事業」「アートによる地域づくり」です。中でもアートによる地域づくりは、2018年より開催を重ねる「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川」の取組を軸に、ゲストハウス・ヌクリハウスの運営や、中山間地における関係人口創出、農村再生など多方面にわたりアートを手法に持続可能な地域づくりの実現を目指しています。

アーティストによる予測不可能な視点と表現活動、社会の枠に囚われない自由な発想力は、地域を混ぜ合わせ、新たな価値をほりおこします。また地域という枠の中では固定化しがちな価値観や人の関係性をまぜあわせ、新たな気づきをもたらします。わたしたちはアートの力を信じ、地域における本当の豊かさとは何か、地方の魅力や価値を再発信し続けます。

NPO 法人クロスメディアしまだは、UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川のプロジェクトを通じ令和5年度「静岡県文化奨励賞」を受賞しました。

## 公募要項

芸術祭主要エリアである島田市川根町抜里地区の主要産業である茶業を中心に、地域の「農」に関わりながら自身の表現制作を行っていただくアーティスト・イン・レジデンスです。地域の農業に触れながら行う表現制作はアーティストにどのような変化をもたらすのか、どんな新たな生き方、働き方が浮かび上がるのか、初の試みです。

募集人数	1～3組
応募資格	<ul style="list-style-type: none"><li>・創作活動をしていること。現代美術、音楽、パフォーマンス、陶芸、映画、文学、デザイン、工芸、建築、食文化など、ジャンルは問いません。</li><li>・20歳以上であること</li><li>・地域農業へ興味・関心がある人</li><li>・日本語での日常会話に支障がないこと</li><li>・応募要項に同意の上、開始から終了まで責任を持って参加できること</li></ul>
採用条件	<ul style="list-style-type: none"><li>・1か月～2か月半の滞在が可能であり、滞在中地域の農業に積極的に関わりながら、自身の制作を行うことができること</li><li>・島田市での農業従事や地域住民との交流から発想を得ながら、作品制作を行うこと</li><li>・リサーチを含め、制作にかかわる全てを自分たちでできること</li><li>・自身のWEBサイトやブログ、SNSで、活動中の様子を発信できること</li><li>・共同生活のルールを守り、協調性をもって滞在できること</li><li>・活動期間中に、地域住民などとの交流を積極的におこなうこと</li><li>・活動期間中に、主催者が実施する成果報告会及びトークイベントに参加し、自分たちの活動や過去の作品について紹介すること</li></ul>
サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>・創作活動費：上限 200,000 円（税込）／組<ul style="list-style-type: none"><li>-材料費、調査に係る費用（現地での交通費、資料代、通信費、謝礼等）、制作費などを含みます。</li><li>-決定後覚書を交わしたのちに、代表者に2回（活動中及び活動終了後）に分けてお支払いします。</li></ul></li><li>・アーティストの滞在に関する日当：3,000 円（税込）／日</li><li>・アーティストの居住地（空港利用の場合は最寄りの空港、鉄道の場合は最寄りの駅）から島田市への往復交通費（1往復分のみ、その他の行き来は自己負担）</li><li>・島田市内での滞在・創作活動場所<ul style="list-style-type: none"><li>-主催者が選んだ島田市内の滞在拠点「アトリエ&amp;ゲストハウスヌクリハウス」を使用することを想定（トイレ・キッチン・シャワールーム共用）</li></ul></li></ul>

	<p>-滞在・創作活動場所の水道光熱費及びインターネット通信は主催者が用意します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップや、アウトリーチなどの活動の会場及び運営人員</li> <li>・地元コーディネーターによるサポート（リサーチによる協力者の紹介や各種交渉のサポート、島田市での生活の困りごとへのアドバイスや情報提供など）</li> </ul>
<p>その他 注意事項等</p>	<p>[表現制作に関する規定・条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品表現の条件（サイズ、素材、重量等）の条件はありません</li> <li>・設置を要する作品においては、設置場所は協議のうえ決定します（指定があれば応募時にお受けします）</li> <li>・設置環境に関する条件：原則、原状回復をすること</li> <li>・設置期間に関する条件：原則 30 日程度良好な状態が維持されること。パフォーマンスの場合最低でも 1 日もしくは複数 日・回の公演を行うこと。</li> <li>・制作・展示・撤収スケジュールを厳守できること</li> </ul> <p>[著作権等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品プランの著作権は原則応募者に帰属します。野外作品など、パーマネント（あるいはそれに準ずる）制作を行なう場合、著作権はアーティストに、所有・使用权は主催者に帰属します。十分な協議のうえ決定します。</li> <li>・作品プランのドローイングや作品の写真は事務局が必要と判断した広報物に画像データとして無償で提供されます。</li> </ul> <p>[農業に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在中、地域の農業に積極的に従事できること（期間、内容等は追って）</li> </ul>
<p>スケジュール</p>	<p>[応募締切]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024 年 7 月 15 日（月祝） 17:00 必着</li> </ul> <p>[選考]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類審査：8月上旬</li> <li>・オンライン面接：8月中旬</li> </ul> <p>※オンライン面接の日程は、書類審査通過の方に個別にお知らせいたします</p> <p>[審査発表（内定通知）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024 年 8 月下旬を予定</li> </ul> <p>※決定者は UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川公式 HP に掲載いたします</p> <p>※内定通知後に詳しい滞在スケジュール等を協議します</p> <p>[滞在期間（予定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月下旬から11月下旬の期間</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在期間は1ヵ月～2か月半</li> <li>・地域農業での研修の実施（農家、茶業者等にて実地研修を実施）</li> <li>・到着後に地域ガイドやレクチャの場を設けます</li> <li>・滞在期間中に地域住民との対話の場（よりあい、ダイアログ）を設けます</li> <li>・地域農業のお手伝いや地域活動へ参加しながら、自身が着想を得た内容を表現すべく活動ください</li> <li>・ワークショップ、アウトリーチなど地域との交流を重視した活動を期待します</li> <li>・地域農業に関わったことが自身の作品に色濃く反映された作品を期待します</li> <li>・滞在期間中に地域住民との対話の場（よりあい、ダイアログ）を設けます</li> </ul> <p>■成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果報告イベントを実施します（現地もしくはオンラインでの参加）</li> </ul>
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の提出物をメールにて送付してください。</li> <li>・提出書類に必要事項を記入し、記載するアドレスに送付ください。</li> <li>・グループでの応募も可（代表者の方のみに連絡）</li> </ul> <p>[提出物]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 応募用紙（様式1・様式2・様式2-2）*必須</li> <li>② 予算書（様式3）*必須</li> <li>③ 作品提案書（タイトル、コンセプト、内容、制作方法、素材、サイズ、制作スケジュール、ドローイングや模型写真、図などを用いてわかりやすく表現したもの）</li> </ol> <p>経歴書、参考作品などプランの参考になる資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・件名を「半農半アートレジデンス応募（代表者のお名前）」としてください。</li> <li>・添付書類は、10MB以下としPDF形式で送付してください。</li> </ul>

【応募先・お問い合わせ先】

NPO 法人 クロスメディアしまだ

担当：兒玉絵美

〒427-0029 静岡県島田市日之出町4-1「C-BASE」

TEL: 0547 - 39 - 3666 FAX:0547 - 39 - 3665

E-mail : info.unmanned@gmail.com

Web サイト : <https://unmanned.jp/>





## 半農半アート・レジデンスプログラム

## 作品制作プラン公募 応募用紙

申請日 令和 年 月 日

企画者 ※グループの場合は代表者名	ふりがな	生年月日(西暦)	年齢
		年 月 日	歳
連絡先	〒 -		
	E-mail @	Tel	
	Website		
グループについて ※グループの場合のみ記入	ふりがな		
	グループ名		
	他のメンバー		
	氏名・年齢	氏名・年齢	
			合計人数( )人
④経歴・活動歴 ※グループの場合はグループについて			

※紙面が足りない場合、別紙を添付してください